

基本目標1 区民一人ひとりが参加する地域づくり

重点項目1 理解と共感を広げる情報発信と場の創出

(資料5 令和6年度事業評価シートから一部抜粋)

	取組状況（具体的な取組）	取組状況に対する評価（令和6年度）
3 パサージュ・たま （地域ケア推進課）	①「パサージュ・たま」を多摩区役所1階アトリウムと登戸南北自由通路で開催しました（年22回開催）。 ②「パサージュ・たま」参加団体の日頃の様子をまとめた映像を、追加で1団体とオープニング映像を新たに作成し、「パサージュ・たま」開催時や多摩区YouTubeで放映を行いました。 ③新たに広報誌を作成し、多摩区内各所で配布しました。	【区役所の評価】 ①原則月2回（8月を除く）開催しました。障害をお持ちの方も意欲と活力をもって参加しており、来庁者からも好評を得ています。また、登戸駅での開催により障害に関する普及啓発を効果的に実施することができました。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ①「多くの方々に製品に限らず、施設や地域のことに興味を持っていただき、お話をさせていただいて楽しく販売できました」（パサージュ・たま出展団体） ①「普段区役所に行く機会がないため、登戸駅で開催してくれると立ち寄ることができるので、今後も開催してほしい」（パサージュ・たま参加者）
6 多摩区地域包括ケアシステムの普及啓発・地域情報の発信 （地域ケア推進課）	①こどもタウンニュースたま区版を発行し、区内公立小学校及び私立小学校にて配布（9月約10,000部） ②区役所1階アトリウム等で地域包括ケアシステムに関するパネル展示を実施しました。	【区役所の評価】 ①身近にある地域包括ケアシステムの取組を小学生にも分かりやすい平易な表現で紹介したことで小学生への普及啓発を強化できたと考えます。地域包括ケアシステムの認知度が特に低い30歳～49歳の子育て世代における認知度を向上させるため、読者プレゼントの応募に、記事を読んで回答するクイズや保護者向けアンケートを盛り込み、保護者が記事を読むプロセスが生じるよう工夫しました。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ①「この記事を読んで地域包括ケアシステムについての理解が深まりましたか」という設問に対し、回答した保護者77名のうち26人が『とても深まった』、47人が『深まった』と回答（読者アンケート）
8 認知症についての正しい理解の普及啓発 （地域支援課）	①認知症サポーター養成講座を受講した子どもたちを含め、さらなる理解を深めるために小学校2校で展示を行いました。 ②多摩スポーツセンターにて「みんなで楽しく認知症予防エクササイズ」と題して、イベントを実施しました。講師を招いて、認知症の講話とエクササイズを行い、18人の参加がありました。	【区役所の評価】 ①小学校での展示は、講座終了後に認知症普及啓発活動の一環として、対象学年だけでなく、全児童に「認知症」に触れてもらう機会となり、学校全体の普及啓発につながりました。 ②多摩スポーツセンターでのイベント実施は地域住民がコグニサイズの魅力を知ることができました。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ①学校での展示では、「講座を実施した学年以外の児童も展示を見たり、認知症サポーターのキャラクター『ロバ隊長』の人形や絵本に触れたりする場面が見られた」（小学校教員）
特筆すべき取組を含めた 総評(令和6年度)	事業の達成度：3 目標をほぼ達成 地域のつながりや支え合いの大切さへの理解・共感を広げ、区民が安心して生活していくために必要な情報を適切に得られるよう、多様な媒体を活用した情報発信やイベント等の場を創出していく必要があります。また、区民が地域活動に関心を持ち、住民同士が支え合う地域づくりについて考える機会や活動への参加を促進していきます。	

基本目標2 多世代交流でつながる地域づくり

重点項目2 身近な地域での支え合い活動の推進

(資料5 令和6年度事業評価シートから一部抜粋)

	取組状況（具体的な取組）	取組状況に対する評価（令和6年度）
4-7 地域包括ケアシステムの推進 (地域ケア推進課)	①「地域活動マッチングイベント 地域のつながり！たまたまみっけ！」をテーマに、企画課と合同で多摩区地域デザイン会議×地ケアフォーラムを開催（出展団体含め132人参加） ②区内を5地区に分けて、各地区の地域特性に応じた取組を実施しました。 ②-1 登戸地区 ・のぼりとミーティングの活動紹介ハンドブックの更新 ・NAGOMI（YUEN HAIR）、のぼりと園芸部で活動見学会の実施 ②-2 菅地区 ・地ケアつながりプロジェクト～TeamSUGE～交流会を2回開催 ・企画部会を設立 ②-3 中野島地区 ・中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会2回開催 ②-4 稲田地区 ・緑化センターまつりでの普及啓発 ・長尾こども文化センターでの子育て世代を対象とした防災講座の実施 ②-5 生田地区 ・西三田団地において、エリア内の公園を活用した多世代交流の場の立ち上げ支援 ・南生田2丁目公園体操の立ち上げ支援	【区役所の評価】 ①「地域で何か始めたいと考えているがまだできていない人」を対象に、地域での居場所やつながりを見つけるきっかけを提供することができました。新たな仕掛けとして、後日、区職員同行のもと、地域活動団体の活動を見学できる「ちよこつと活動見学」を設定したことで、参加者がイベント中に抱いた興味関心を逃すことなく、次の一歩につなげるアフターフォローができました。 ②各地区の特性に応じて、多様な主体による協働・連携に向けた協議会・交流会等を開催してネットワークの維持や目的の明確化に向けた取組を行うことで、地域包括ケアシステム構築のための基盤の安定を一層図ることができました。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ①「地域でつながりをつくることの重要性が分かった」「地域活動に興味を持つきっかけになった」（多摩区地域デザイン会議×地ケアフォーラム参加者） ①「ちよこつと活動見学は、見学者が単独で行くよりも、見学者と団体双方にとって安心感がある良い試みだと思う」（多摩区地域デザイン会議×地ケアフォーラム出展団体） ②-2 菅地区 「菅地区内の様々な団体が話し合いをしている。グループごとの話し合いもあり、これまで知らなかった団体と意見交換ができて有意義だと感じている。取組の発表や共有もあり、和気あいあいとした良い取組である」（地ケアつながりプロジェクト～TeamSUGE～参加者）
特筆すべき取組を含めた 総評(令和6年度)	事業の達成度：3 目標をほぼ達成 身近な地域での支え合い活動を推進するため、地域で活動する多様な主体による協議会や交流会等の開催を引き続き実施していく必要があります。また、住民同士が地域の中で出会い、あいさつし合えるようなゆるやかなつながりづくりをめざし、誰もが気軽に参加できる活動・交流の機会づくりの取組を推進していきます。	



基本目標3 見守り・支え合いのネットワークづくり

重点項目3 支援が必要な人への見守り・支え合いの推進

(資料5 令和6年度事業評価シートから一部抜粋)

	取組状況（具体的な取組）	取組状況に対する評価（令和6年度）
5 1 新生児訪問・こ んにちは赤ちゃん訪問 (地域支援課)	① 看護職による新生児訪問等(1,577 件)、民生委員等の地域住民の訪問員によるこにちは赤ちゃん訪問(98 件) ② 出生後1か月以上経過しても出生連絡票が提出されていない場合、ハガキの送付や地区担当保健師の電話・訪問による提出勧奨	【区役所の評価】 ① 乳児期の早い段階で訪問を行うことで、育児負担のある保護者の早期把握と支援を行う事ができ育児負担の軽減につながっています。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ① 「新生児訪問で育児相談ができ良かった」「新生児訪問で紹介された母子保健事業に参加し友人ができた」（新生児訪問を受けた保護者）
5 5 ひとり暮らし等 高齢者見守り事業 (高齢・障害課)	① ひとり暮らし高齢者等を対象とした生活状況調査（郵送）の実施。調査に基づき民生委員児童委員と共有して日頃の見守り活動に活用するほか、必要に応じて地域包括支援センターと連携しました。	【区役所の評価】 ① 回答いただいた調査票は、個人情報保護に配慮しながら民生委員児童委員や地域包括支援センターと連携し、見守りや支援が必要な方への相談につなぎました。また、リスクのある高齢者の早期発見・実態把握に活用しています。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ① 「ひとり暮らし高齢者お一人おひとりの状況に合わせた見守りや支援ができた」（民生委員・児童委員）
5 8 川崎市地域見 守りネットワーク事業 (地域ケア推進課)	① 協力事業者等から連絡のあった、異変のある地域住民の情報を基に関係部署と連携し、訪問等による必要な支援を実施（通報件数 11 件 ※令和6年1月1日～ 12月31日） 	【区役所の評価】 ① 住民の異変に係る事業者からの通報に、迅速に対応するなど、異変が生じた際の早期の状況確認について、事業者及び関係課と連携を図ることができました。
特筆すべき取組を含めた 総評(令和6年度)	事業の達成度：3 目標をほぼ達成 一人ひとりの困りごとを見逃さず、必要な情報の提供を行い、サービスにつなげることができるよう、気軽に相談できる体制の充実を図ります。また、区民や民間事業者等と連携して、支援が必要な人への見守り、支え合いを進めていきます。	